

武豊線電化工事の進捗について

当社では、名古屋都市圏の通勤・通学輸送等を担っている武豊線（大府駅～武豊駅間）について、更なる輸送サービスの向上を目的として平成27年春を目途に電化することとし、現在工事を進めています。現在、概ね計画通り工事を進めておりますので、その進捗についてご紹介いたします。

1. 電化工事の概要

- 電化区間：武豊線全線（大府駅～武豊駅間） 19.3km
- 工事内容：電柱・架線等の電車線路設備および変電所の新設等
- 工事期間：平成22年3月～平成27年6月
- 電化開業：平成27年春（目途）

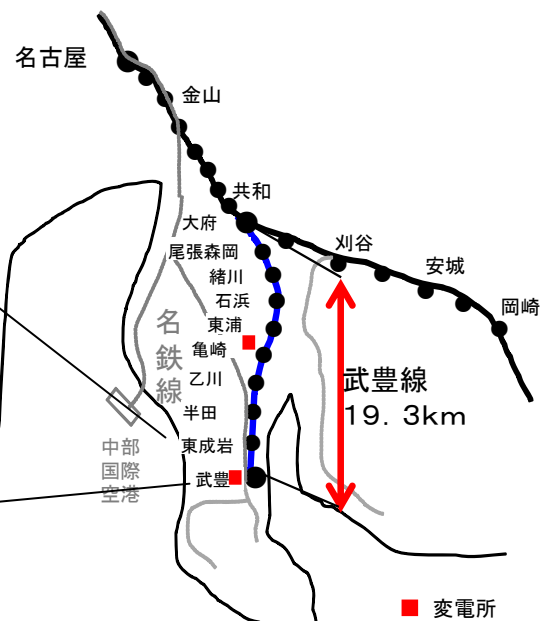
2. 電化工事の進捗状況（平成25年9月末時点）

- (1) 電柱建植状況
全体総数549本の内、510本が完了（全体の約9割）
- (2) 架線設置状況
全体総延長約26kmの内、約4kmが完了（全体の約2割）
- (3) 変電所建設状況
2箇所の変電所について、用地の取得・造成が完了
建屋の建設および機器の設置に着手

<東成岩駅付近の電車線路設備の状況（設置完了）>

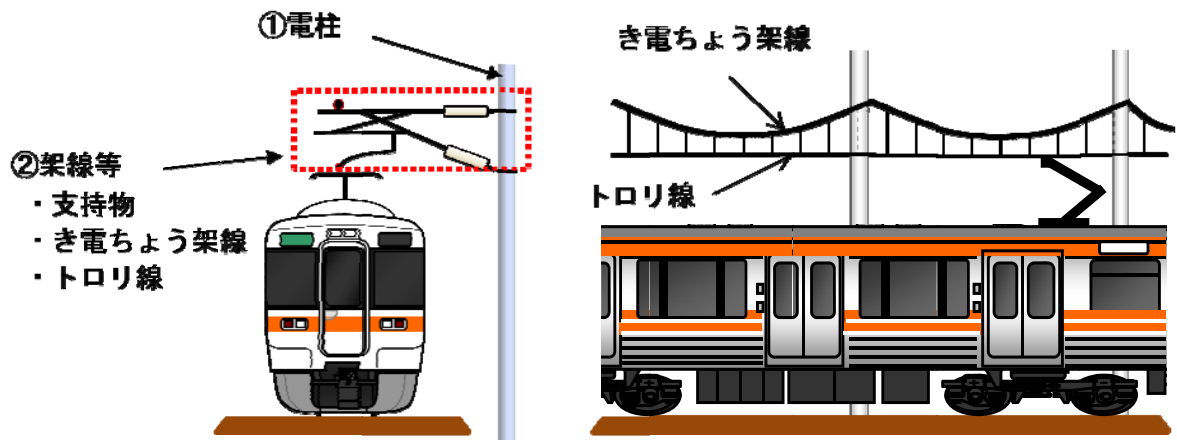


<武豊駅付近の変電所の状況（建設中）>



【電車線路設備】

○ 概要図



※き電ちよう架線

従来からある、変電所から電車に電気を供給する「き電線」と、トロリ線を支持する「ちよう架線」の両方の役割を備えた電線。

○ 工事の流れ

①電柱の建植



<電柱>

- ・電柱を支える基礎の工事を行った後、クレーン等を使用して電柱の建植を行います。

②架線等の新設



<支持物>

- ・き電ちよう架線及びトロリ線を固定するための支持物を電柱に設置します。設置には高所作業車や梯子を使用します。

<き電ちよう架線、トロリ線>

- ・線路上を走行できる保守用車により、き電ちよう架線、トロリ線の取付を行います。